

| | | | | |
|------|----------------------|------|---------------------|-----|
| 助成者 | 新石 正治 | 活動期間 | 2024年4月～2027年3月（予定） | 活動中 |
| 所属機関 | 特定非営利活動法人ブリッジーシアジャパン | 職名 | 事務局長 | |

日本とベトナムの学校現場の実践的な交流を通じた質の高い環境教育モデルの構築

【活動場所】 ベトナム フエの小中学校

【事業目的】 急速な発展をつづけるアジアの国々と日本の環境教育の現場で共有されつつあるのは「知識が上滑りしている」という危機感である。気候変動や海洋プラスチック汚染などの最新情報はインターネットで入手できるが、実体験が伴わず知識を生きた形で定着させることが難しい。本事業の目的は、ベトナムのフエで長年環境教育を実践するNGO（当団体）及び学校関係者（生徒含む）と日本の教育現場で特異な環境教育を実践してきた駒場東邦中学高校の教職員及び生徒との間で「知識の上滑り」に対抗するためのよりよい環境教育のあり方について対話を通じて学びあい、より質の高い環境教育を実践していくことである。



駒場東邦高校生とのグループワーク

【活動内容】

- 1年目：「対話」環境教育の現場（教師、NGO、生徒） 同士の対話と交流
- 2年目：「共創」質の高い環境教育の実践の蓄積
- 3年目：「普及」ハンドブックづくりと各地域への普及

【活動状況（1年目）】

- ・日越中高生の環境教育グループワーク実施
ラムモンカン中学校へ駒場東邦中学高校の教師・高校生ら40人が来訪し環境問題に関するグループワークを実施。フエ中学校側教師5人生徒36人参加
- ・実験・実践的要素を入れた授業の展開（現地で5回実施）
「雨をつくってみよう」「ごみ処理発電施設と水処理施設を見学しよう」「食糧廃棄問題と堆肥づくり」「藁の物語」（基礎と応用）、マイクロプラスチック実験
- ・アクティブ・ラーニング的要素を入れた授業の展開（現地で3回実施）
「学んだことを小学生に教えよう」（準備編）、「同」（実践編）、「日越中学生オンライン環境サミット」（海洋プラスチックごみに関する発表会）
- ・ベトナム側教育担当者が来日し駒場東邦中学高校を視察



日越中学生オンライン環境サミット